

ストップ！交通事故 ～冬の安全運転～

いながわ
特派員報告



中橋 弥里



山崎 悦子

猪名川町は阪神間の北部に位置し、南部に比べると気温が低く12月に入ると雪が降ることがあります。しかし、事前に雪に備えている人はまだまだ少なく、凍った道でハンドルをとられてヒヤリとされた人も多いのではないのでしょうか。今回は、雪に備えて準備しておきたいことや、雪道での冬の安全運転のコツについて調べました。



大雪の日、横滑りし脱輪した車両

思いがけない大雪

今から2年前の平成17年12月に大寒波が到来し、町内全域に雪が降り積もりました。この雪で一時バスが運休し、交通に支障が出たほか、滑って転びけがをした人や、車がスリップして脱輪する事故も発生しました。幸い軽いけがでしたが、一つ間違えれば命にかかわる事故につながっていたかもしれません。

12月初旬にはスタッドレスタイヤの装着を

雪が降ったり路面が凍結してくると、町内のおちろちの坂道でスリップして立ち往生している車や、そのまま路肩などに放置している光景がよく見られます。これは主

凍結注意！

スリップ危険箇所

スタッドレスタイヤを装着していても絶対に安全ということではありません。特に、冷たい風が下から吹き上げる橋の上やトンネルの出入口付近、日陰になっている場所は一瞬凍結していることがあります。スリップしやすいので要注意です。スピードを落とし、いつもより慎重な運転を心がけましょう。

歩行者・自転車の安全対策

冬季は日暮れが早いので、子どもや高齢者は特に明るい色の服装を心がけ、夜光反射材を利用するなどドライバーの目に付きやすい工夫をしましょう。自転車は必ずライトを点灯してください。凍結時は転倒事故を防ぐため、滑りにくい靴をはきましょう。

冬の道路を守る凍結防止剤

町では冬の間、道路端など約380カ所に凍結防止剤を置いてあります。

降雪時には、通勤時間帯前に主要幹線道路を優先して凍結防止剤を散布していますが、道路本数が多く、すべての路線に散布を行うことは困難です。幹線道路以外にも凍結防止剤が配布してあるので、必要に応じて散布しても良いそうです。散布時には交通に十分注意し、次の点に注意して散布してください。

町道の坂道・交差点・歩道・日陰で凍結しやすい道路や橋に散布する（除雪をしていない道路に散布しても効果があがらない場合があります）

散布に際しては、1㎡あたり30～100g（一握りは約30g）を目安にし、散布しすぎないようにする
手袋を着用して散布する

凍結防止剤は、町内で年間約1,000袋用意されますが、未開封の凍結防止剤は次の年に使用することができます。しかし、回収した凍結防止剤の8割は、傘で突いた穴などが原因で薬剤が溶けて固くなってしまい、使用することができずに廃棄されています。凍結防止剤は、私達の安全を守る大切なものですので、丁寧に扱きましょう。

問合せ 建設課（766 - 8705）



凍結に備えて道路端に凍結防止剤を配布

取材を終えて、防寒具や暖房機器だけでなく、愛車の冬の準備も早速済ませたいと思いをいたしました。これから年末年始に向けては何かと忙しく、あわただしい気分になりがちです。飲酒運転をしないことは当然ですが、時間にも気持ちは余裕を持ってハンドルを握らなければ、とあらためて感じました。

町内では昨年11月から交通事故が増え、10月に兵庫県から表彰を受けました。これからこの記録を更新していきたいですね。【いながわ特派員】

後編 編集



冬のドライブ安全ガイド



冬季に車を安全に運転するためのポイントを、大陽猪名川自動車学校の西村さんに教えていただきました。

早めの準備を スタッドレスタイヤへの交換、タイヤチェーンの準備、ウインドウォッシャー液の補充などは初雪の前に済ませましょう。タイヤチェーンの装着方法を確認しておくことも大切です。

路面状況の把握 アイスバーンや、交差点手前で停止発進が繰り返されることで磨かれたミラーバーンの状態は、スリップしやすく大変危険です。積雪路面では、道路の端に寄り過ぎて脱輪しないよう注意します。

スリップしないためには 急発進・急ハンドル・急ブレーキを避けて低速で一定の速度を保って走行し、減速時や下り坂ではエンジブレーキを使いましょう。

後輪が横滑りしたら 慌ててブレーキを踏まず、後輪がすすべる方向に軽くハンドルを切って車の向きを立て直し、アクセルを軽く踏むようにします。

十分な車間距離を 雪道や凍結路面での停止距離は、晴れた日の3倍になります。急ブレーキを避けるためにも、車間距離を十分にとって走行しましょう。

ライトの点灯 降雪時には、昼間でもライトを点灯しましょう。ライトは下向きにした方が、目の雪の乱反射が少なく見やすくなります。

駐車する時は 冷え込む夜間にはサ

イドブレーキを使用せず、オートマチック車はパーキングに、ミッション車はギアをバックかローに入れ、必要ならば輪止めをします。ワイパーはガラスに凍り付くことがあるので、立てておきます。

乗らないという選択 雪道を走行する自信がなければ、可能な限り公共交通機関を利用し、自家用車の使用を控えることも大切です。

初めてタイヤ交換に挑戦！



取材に行った大陽猪名川自動車学校でタイヤ交換を体験してきました。

ジャッキをかける位置や、固く締まったナットのゆるめ方、工具を用いて「てこ」の原理でタイヤを持ち上げる方法など、女性の力でも無理なく交換できるポイントを教わりました。初めてでも、1本5分程度で簡単に交換できたので、この冬は自分でスタッドレスタイヤの交換をしてみたいと思います。